

**JCD**

**Kansai**

**2019.3.Vol.74**

交通安全の街

2019.3



# JCD

## Kansai

### 2019.3

### Vol.74

[表紙・水彩画]  
「御堂筋」

名誉会員 大菅 満義



2019年(平成31年)3月号  
vol.74 平成31年3月発行  
発行/(一社)日本商環境デザイン協会  
関西支部  
〒559-0034  
大阪市住之江区南港北2-1-10  
ATCビル ITM棟10階A-1  
(一財)大阪デザインセンター内  
Tel./Fax. 06-6613-5557

広報委員会  
委員長/中山 拓  
担当理事/齊藤 俊二  
委員/岡島 昇(副委員長)  
都田 香(エスケー化研)  
村田 みどり

制作/グラフィックアーツ ベルテ

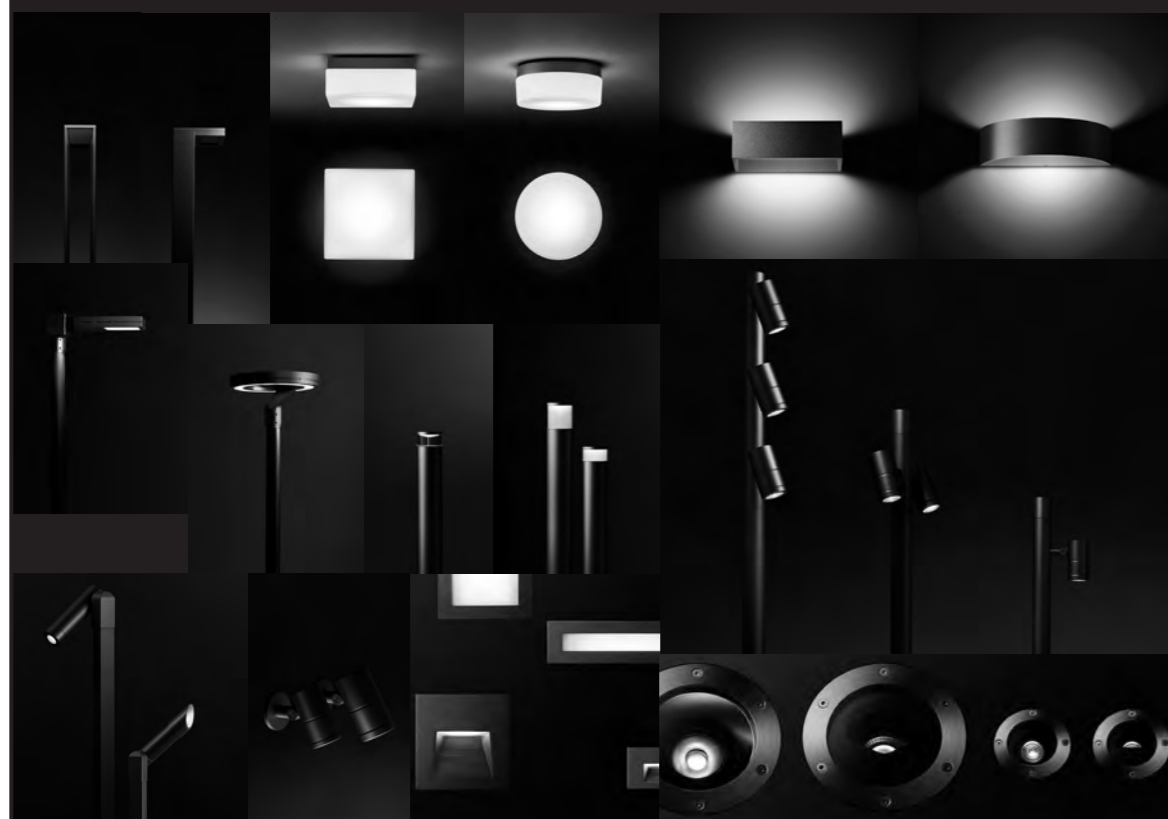
(一社)日本商環境デザイン協会 関西支部  
JCD KANSAI 2019年3月 第74号

アウトドアライトの新たな歴史が始まる

# ZERO

## ZERO 2nd Generation

LANDSCAPE LIGHTING ZERO



「ZERO」  
屋外施設照明カタログ  
第2弾

2019年春 Release

新製品約300点を含む総掲載点数450点掲載

重耐塩仕様標準化

全製品が重耐塩仕様で、海岸より200m以内の場所でも安心

塗装色の別注同一価格

別注のカラーオーダーでも、カタログ表記と同価格で対応

[ZERO]スペシャルサイトURL

<https://www.lighting-daiko.co.jp/zero/>



大光電機株式会社  
本社/Tel.(06)6222-6240 Fax.(06)6222-6252  
〒541-0043 大阪市中央区高麗橋3-2-7高麗橋ビル

**DAIKO**  
<https://www.lighting-daiko.co.jp>

#### 04 ● 報告

##### JCD関西支部活動報告

2018年度 JCD関西支部 活動基本方針

2018年度 関西支部集會&懇親會 中山 拓

#### 06 ● 特集

##### JCDデザイン賞

JCDデザインアワード2018 審査経過報告 笠原英里子

審査総評 橋本夕紀夫

大賞評 柏木 博

大賞/金賞/銀賞 他

#### 11 ● 報告

##### 委員会活動報告

CREATIVE LOUNGE #01 「隣の芝生は青いのか」 益田 裕紀

親子de体験セミナー『こどもたちと創る商店街』 齊藤 俊二

DIY ワークショップ フェス 中村 裕輔

関西デザイン学生シンポジウム2018&作品展 東 潤一郎

JCD関西支部 -Autumn Meat Party-2018 柴 隆志

JCD関西支部 クリスマスイベント「星に願いを~夢は叶う~」 高橋 健太

#### 16 ● 報告

##### 委員会報告

2018年度 NEXT委員会 活動報告 猪木 陽子

2018年度 広報委員会 活動報告 中山 拓

#### 17 ● 連載

##### Working Now

新入会員紹介 猪木 陽子

太田裕美子

柴田 雅幸

新入賛助会員紹介 (株)大塚家具

# JCD関西支部活動報告

## 2018年度 JCD関西支部 活動方針

### デザインをする人も。デザインを目指す人も。デザインに協力する人も。みんなJCD関西!

#### 【2018年活動計画】

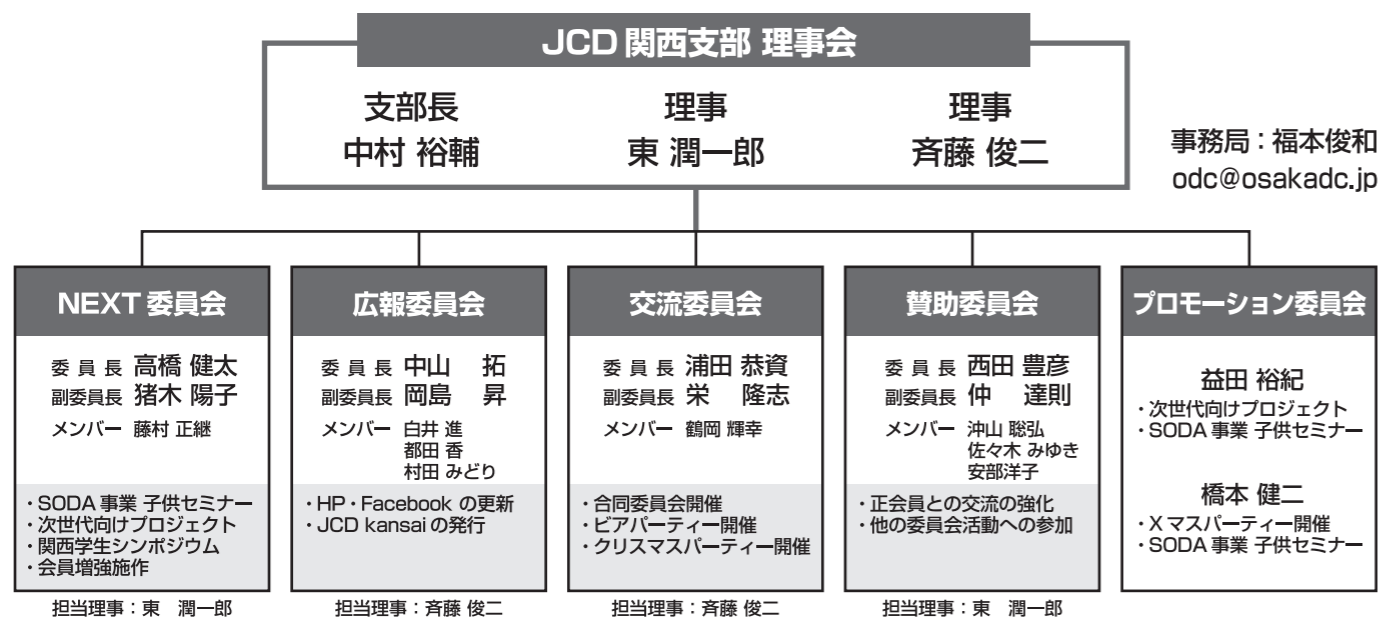
- ・次世代への取り組み
- ・賛助企業様との更なる深耕
- ・他団体との連携の加速
- ・社会貢献

#### 【2017年活動の振り返り】

- ・新規イベントの開催3件
- ・Facebookの充実と更なる活用
- ・大学・学生との関係の強化
- ・会員システムの刷新
- ・SODA事業の拡大
- ・他団体との連携強化

7月1日	次世代向けセミナー「隣の芝生は青いのか」 京都マテリアルにて開催 参加者40名 ※業界を超えてのトークセッション	4月8日	学生向けセミナー「履歴書を書く前に」開催 (セミナー・ポートフォリオアドバイス会・懇親会) 上本町「銭屋カフェ」にて 参加者58名(学生34名、引率1名、一般2名、 ゲスト9名、スタッフ12名)
7月23日	支部集会(賛助会員PR会・懇親会) 屋敷「あまべ」にて開催 参加者58名 ※6/18震災にて延期	6月19日	支部集会開催(賛助会員PR会・懇親会) 参加者58名
8月25日	SODA事業 住まい情報センター タイアップ事業 「こどもたちと創る商店街」 参加者52名(小学生29名) 模型ワークショップ+商店街見学	7月20日	賛助会員バーベキューパーティ開催 中之島カーブウィークスにて 参加者31名(13社26名 正会員27名)
10月3日	秋のミートパーティ ジョーテラス「Good spoon」 参加者58名 カームデザイン金沢氏のトークイベント	7月29日	SODA事業 住まい情報センター タイアップ事業 「こどもたちと創る商店街」開催 参加者56名(子供29名、保護者27名)
10月13日	関西学生シンポジウム(4団体共催) 大阪デザインセンターにて開催 参加者79名 5団体合同(JCD/JID/JIDA/KIPA)	10月20日	関西学生シンポジウムの開催(4団体共催) 高麗橋BLACK BOXにて 5大学の参加 来場者71名
10月28日	DIYフェス ワークショップフェス 大阪市立住まい情報センター 60人参加のテーブルランプ作りのワークショップ	11月11日	「等身大のデザインワーク」開催(トークセッション・ ショートプレゼン・レセプションパーティ) ホテルカンラ京都にて 参加者65名
11月12日	「第10回大阪市あきないグランプリ表彰式」 大阪市商店会総連盟主催	12月7日~11日	「日本の空間デザイン展」開催(4団体連合) グランフロント大阪 KOIZUMI照明SRにて 来場者 88名
12月6日	クリスマスイベント 躍進!女子力! トークセッション&ライブ 「2018 Women's meeting」遠藤照明SRにて 参加者96名	12月8日	クリスマスイベント開催(賛助会員コラボ展示・ トークセッション) 西長堀細野ビルにて 参加者57名(正会員12名、一般23名、学生1名、賛 助会員21名)賛助コラボ展示8社4組、単独展示5社
3月11日~15日	「日本の空間デザイン展」(4団体連合)	その他	デザインセンター大阪「SENBAサロン」への協力 (年間5回)

## 2018年度 (一社)日本商環境デザイン協会・関西支部 組織表



## 2018年度 関西支部集会&懇親会

広報委員会 委員長 中山 拓

2018年7月23日(月)に今年度の関西支部集会&懇親会が開催されました。今年も6月に開催予定でしたが、関西を中心に起こった震災の影響で順延することになり、皆様からのご協力をいただいて約一ヶ月遅れで開催することができました。

会場は『あまべ』。大正初期に建てられた古民家をお借りして、古き良き時代を感じながら、例年とは一味違った趣のある雰囲気の中、座卓を囲みながらのスタートとなりました。

今年のJCDkansaiのスローガンは、『デザインをする人も。デザインを目指す人も。デザインに協力する人も。みんなJCD 関西!』。中村支部長より、「次世代への取り組み」・「社会貢献」・「賛助会員様との更なる深耕」・「他団体との連携の加速」という4つの柱からなる指針を映像でご説明いただきました。

続いて今年度、新たに理事に着任した斉藤理事、そして各委員会の委員長より今年度の抱負を語っていただき皆様へのご挨拶をさせていただきました。

支部長、理事ならびに各委員長からは関西のデザイン

日時: 2018年7月23日(月)  
支部集会・賛助会員PR会 17:00~18:30  
懇親会 18:30~20:40  
会場: あまべ  
参加者数: 58名(正会員9名、一般49名、賛助会員21社)

シーンをさらに盛り上げるべく、並々ならぬ決意を感じることができ、また出席者の方々の眼差しも真剣そのものでした。

恒例の賛助会員様PR会では9社にご参加いただき魅力的な商品、新たなサービス、会社の強みを存分に語っていただき、我々デザイナーも食い入るように拝聴しておりました。こういったライブプレゼンテーションも支部集会の醍醐味で、双方、大変有意義な時間となりました。

暑い中ではありましたが、懇親会ではみなさん量の上でリラックスし、お酒と美味しい食事をいただきながらでの情報交換の場となり、2018年度のJCDkansaiの更なる盛り上がりを感じさせる熱い夜となりました。ご来場いただきました皆様には改めて御礼申し上げます。





JCDデザインアワード2018 審査経過報告

JCDデザインアワード委員会 委員長 笠原 英里子

JCDデザインアワード2018は、昨年同様 1.ショップ空間 2.食空間 3.大規模商空間 4.サービス・エンターテイメント空間 5.文化・公共コミュニケーション空間 6.公共生活空間の6部門別で作品を募集した。応募総数は590点。昨年に次ぐ過去二番目の数となり、アワードの認知度が定着してきた。海外からの応募点数は138点となりアジアからの評価が一層高まっている。

一次審査では審査員27名のネット審査によってBEST100の作品106点を選出。二次審査は7月7日東京デザインセンターにて公開審査形式で行われた。審査員

は橋本夕紀夫氏を審査委員長として出原秀仁氏、柏木博氏、小坂竜氏、田中仁氏、仲佐猛氏、西尾洋一氏、西沢立衛氏、というデザインを取り巻くステークホルダー8名に依頼。まずBEST100から銀賞以上23作品を部門別に選出、その中から金賞以上6作品を選んだ。最終選出では橋本審査委員長の采配で、金賞以上の全作品に全審査員が講評し、他者に左右されないブラインド投票を行った。結果「静岡県富士山世界遺産センター」が選ばれた。透明性と公平性が確保された素晴らしい審査会になったと思う。

JCDデザインアワード2018 審査総評

橋本 夕紀夫

今回の審査の中で、大賞に輝いた静岡県富士山世界遺産センターと最後まで競い合った作品が、中国のWUHAN WUSHANG MALL CINEMAであった。この作品はひととき異彩を放っていて、審査の最初から得点数を増やし結果的に最終選考まで上り詰めていった。執拗なまでに円形のモチーフを重ね合わせて作られた空間からは、底知れぬエネルギーとパワーが感じられた。個人的な感想ではあるが、そこにはある種の既視感と懐かしさを感じることができた。おそらく現在の日本のインテリアや建築のデザインシーンは、世界の中でもトップレベルにあり、非常に成熟しているといえるだろう。実際今回の応募作品のほとんどが、空間としてまとまりがあり破綻をきたしているようなものがなかった。その分、強烈に心に訴えかけてくるようなものもあまりなかったように思う。

日本のインテリアデザインが大きく開花したのが、大阪万国博覧会が開催された1970年前後だと一般的には言われている。日本の高度成長期ということもあって、とてつ

もないエネルギーと実験精神にあふれた新しい考え方のインテリアデザインがその頃生まれはじめた。そこで開発されたデザインは世の中に新しい価値観を創出し、刺激を与え、豊かさにはバリエーションがあるということを示していった。社会的な影響を与えるのみならず、次世代のクリエイター、デザイナーを目指す若者たちにも夢と希望を与え続けていった。この中国の作品からはその頃の熱気呼び起こすような力を感じられた。奇しくも、今年の4月に、インテリアデザインのパイオニアである杉本貴志さんが逝去された。これを一つの節目として今一度日本のインテリアデザインを問い直すときがきているのかもしれない。そしてJCDもまた変化しようとしている。この2018年をもってJCDデザインアワードはピリオドを打ち、来年よりJCDとDSAのアワードが統合され日本空間デザイン賞として発足される。さらなる日本のインテリアデザインの発展を願って、2019年からの日本空間デザイン賞に期待をしたい。

●選考点数一覧表

	応募総数			入賞点数
	国内	海外	計	
1:ショップ空間	94	27	121	4
2:食空間	89	34	123	5
3:大規模商空間	26	5	31	0
4:サービス・エンターテイメント空間	89	28	117	7
5:文化・公共コミュニケーション空間	34	10	44	5
6:公共生活空間	120	34	154	2
合計	452	138	590	23

※括弧内の数字は他の賞と同時受賞している作品

	大賞	金賞	銀賞	新人賞	審査員賞
1		2	2	2(2)	1(1)
2			4		2(1)
3					
4		2	4		5(4)
5	1		4		
6		1	1		
	1	5	15	2(2)	8(6)

**金賞** NEW BALANCE ROPPONGI 19:06  
 デザイン: New Balance, Inc. + (株) アクシス 皆川雄一

西尾洋一賞

**大賞** 静岡県富士山世界遺産センター  
 坂茂建築設計 坂 茂 / (株)丹青社 高橋久弥、土井啓都

新幹線に乗っていると、海外からの旅行者が、立ち上がって風景を見るという光景を目にすることがたまにあります。彼らの気持ちをそれほど動かしているのは、窓の外に一瞬見える富士山の姿です。ほぼ三角形にちかい整った台形。こうした形状の山が、世界中ほかにはないのかどうか。日本国内でも「〇〇富士」と呼ばれている似たような形状の山があります。けれども、「〇〇富士」と呼ばれるのですから、その基本は「富士山」に他なりません。古い民話的な「不死の山」から富士信仰、そして武田泰淳の小説『富士』まで無数の物語を生み出してきた富士山。もちろん、「富士は日本一の山」という意図的な匿名的作曲による児童唱歌もあり、富士山は日本の表象のひとつとなってきました。

もちろん、富士山の存在は海外でも知られてきたのでしょう。だから、新幹線から一瞬見えるその姿に、海外からの観光客が色めき立つのでしょう。

その富士山が世界遺産に認定されたことで「静岡県富士山世界遺産センター」が計画されたわけですが、そのデザインには、かなり苦勞されたと思います。民話から信仰そして無数の物語を生んできた誰もが知る「富士山」。それほどの存在をテーマとすると、どこかしら通俗的なものになりやすい。それをさげいかにデザインするか。

実際にそれを見ていないので、多言ができませんが、プレゼンテーションのパネルを見たときに、まず感じたのは、ヴィジュアルによる構成が万博パビリオンを思わせるものでした。おそらく、1980年代以降の万博がさまざまなヴィジュアルを中心としてきた歴史的記憶があったからなのでしょう。

しかし、図面を見ると、そのヴィジュアルを展開する空間の流れはきわめて自然で、万博的演出とは異なっているのではないかと感じました。

そして、なによりも外観の富士山を思わせる形態はきわめて印象的なものと感じられました。大賞にふさわしい堂々としたデザインです。  
 (大賞評: 柏木 博)



**金賞** **メルセデス・ベンツ和歌山**  
 窪田建築都市研究所 窪田茂 / 大和ハウス工業(株)

**金賞** **WUHAN WUSHANG MALL CINEMA 9F**  
 ONE PLUS PARTNERSHIP LIMITED (香港) AJAX LAW, VIRGINIA LUNG

小坂竜賞 橋本夕紀夫賞

**金賞** **Colobockle Nest**  
 九州大学 谷口和広、奥村光城、東大貴 / 清水建設(株) 遠藤由貴 / アラップ 鹿嶋渉 / 鹿島建設(株) 華田健人 / (株)久米設計 西村宇央 / NKS architects 大谷芽生 / 野原匠実

**金賞** **まつばらクリニック 泌尿器科**  
 (株)マツヤアートワークス / KTX archiLAB 松本哲哉

銀賞

**SunnyHills To-Go at Taipei A9**  
 SAND 西川拓、堂園有、大村聡一郎

新人賞

**HUDSONS -A Shoe Lounge at the Wednesday night-**  
 (株)プラスマイズミアーキテクト 真泉洋介

新人賞

**青藍 丸万**  
 YLANG YLANG 藤川祐二郎 + 金瑛実

**猿田彦珈琲 調布焙煎ホール**  
 サポートデザインオフィス 谷尻誠、吉田愛

**上海銀シャリ屋**  
 堤由匡建築設計工作室 堤由匡

**中国料理 彩**  
 (株)松井亮建築都市設計事務所 松井亮

仲佐猛賞

**湖畔の森教会**  
 (有)小川博央建築都市設計事務所 小川博央

**REGALO**  
 タカラスペースデザイン(株) 湯口巖

田中仁賞



銀賞

青普麗江白沙文化行館

堤由匡建築設計工作室  
堤由匡



西沢立衛賞

XIANGYANG FANYUE MALL INTERNATIONAL CINEMA

ONE PLUS PARTNERSHIP LIMITED (香港)  
AJAX LAW,  
VIRGINIA LUNG



ふじおか幼稚園

アトリエテンマ  
長谷川演



舎庫

Koizumi Studio  
小泉誠



菊池市中央図書館

(株)乃村工藝社  
中村和延



知識の蜂の巣

(株)POINT  
長岡勉



WOODY PARTS Factory Office

(株)乃村工藝社 越膳博明



空野 南船場店

(株)ムーンバランス  
辻村久信、高野菜々絵



出原秀仁賞

プライベート葬儀場 森の邸宅 柏木博賞

(株)曾根靖裕デザイン事務所  
曾根靖裕



報告

委員会活動報告

CREATIVE LOUNGE #01 「隣の芝生は青いのか」

プロモーション委員会 益田 裕紀

日時：2018年7月1日(日) 14:00～  
会場：MTRL KYOTO  
参加者数：40名(学生9名、一般25名、正会員6名)

次世代へ向けたイベントとして、さまざまな考えを持つクリエイターとの対話から社会の問題を解決するヒントを探る「CREATIVE LOUNGE #01 隣の芝生は青いのか」を企画いたしました。参加者は40名。20～30代を中心としたデザイナー・建築家・美術作家と大学生・院生で会場は満席となりました。

前半は3名の登壇者によるショートプレゼン。美術と建築というフィールドの違いだけではひとまとめにできない、キャラクターと制作環境の違いが展開されました。

野原万里絵さんは、滞在制作を通じた地域交流と、共同制作による教育現場での体験が印象的でした。近藤陽子さんは、組織事務所での経験から生活と密接に結びついた仕事環境から生み出されるローコスト建築に、のびのびとした自由度を感じました。前川紘士さんは、「美術という領域外での表現」が学生時代からも試行錯誤されていた事が伺え、リサーチを中心とした研究と制作による今後の活動を期待させられます。

後半は、普段の制作環境や作品制作の発想のプロセスなどをトークセッションの形で行い、それぞれの専門分野の間にある境界線をあらためて感じる内容となりました。

トークを通して強く感じたことは、分野の違う人々との交流は、自分の考え方を再確認できる機会となり、無意識的につくられている見えない箱を開放するきっかけを

与えてくれるという事と、問題意識には一人ひとりの違いがあり、その部分は垣根を越えて話ができるという事。テーマであった「作品の制作とは労働の対価として収入を得る為の行為なのか、もしくはプライベートの趣味に近いものなのか」それに対する答えはシームレスな制作活動を展開する作家にとって、既に生活の一部となり、常に向き合っている日頃の課題のように感じました。

同会場での懇親会では、学生からの活発な質疑もあり、建築家とデザイナー、美術作家との交流が自然と生まれる場所となりました。登壇いただいたゲストの野原さん、近藤さん、前川さん、会場を提供いただいたMTRL KYOTO、運営に協力いただいたJCDと参加者の皆さまにあらためてお礼申し上げます。

テーマや対象を変化させながら、今後も次世代向けイベントとして企画していきたいと思っておりますので、引き続きよろしくお願いいたします。





〈大阪市立住まい情報センター+ JCD関西支部タイアップ事業〉 **親子de体験セミナー『こどもたちと創る商店街』**

関西支部 理事 齊藤 俊二

恒例のタイアップ事業セミナー、大阪市立住まい情報センターとのコラボで、親子de体験セミナー「こどもたちと創る商店街」の模型づくりをワークショップ形式にて今年も開催しました。

セミナーの開催にあたり、JCDより中村支部長からセミナーの主旨を説明してもらい、続いて天神橋筋商店街の戸和理事長よりご挨拶を頂き、商店街の歴史や現在までの状況などのお話を頂きました。

午前中は参加者7班に分かれてそれぞれにJCD講師陣も一緒になり、商店街視察を行いました。布団店や書店などの数店舗の方々からの商品の展示や陳列の仕方、また売れ筋等のレイアウトの仕方やインテリア内装など、子供達のみならず、保護者の方々も興味津々に聞き入っていました。視察の余韻からか、お昼休憩時も親子で「あんなお店やこんなお店を創りたい」など、持参したお弁当を食べながらコミュニケーションを図っておりました。

午後からは単なる模型の材料では無く、あらかじめJCD賛助企業の協力で準備した本物の床材や壁紙、タイルや木リブなどの建材を、自由に活用した模型作りが始まりました。

中には我々講師陣が普段当たり前のように接している建材なので、床・壁などの仕上げ材として使用するのだろう!と思っていたのに対し、タイル材に様々な色のパウダー材をちりばめてパン屋さんの商品のお好焼パンを

日時: 2018年8月25日(土) 10:30 ~ 16:30  
会場: 大阪市立住まい情報センター 3階ホール  
参加者数: 52名(こども29名、保護者23名)  
講師陣: [JCD関西支部] 中村祐輔・斎藤俊二・栄隆志・高橋健太・猪木陽子・白井進・衣笠和宏・藤村正継・山田悦央・沖山聡弘(賛助会員)  
[住まい情報センター] 本藤記子

作ったり、カラフルな壁紙を色々な形に折り曲げてファッション店の商品の洋服に見立てたりと、子供たちの発想の豊かさに、逆に教えてもらった様な感じでした。

終盤は参加した29名の子供たちと保護者23名で共作した、29店舗の模型を各店舗づつ照明ボックスに入れて、それぞれの模型に明かりを灯しました。実際の店舗の設計施工を行ったかの様に、各自の店舗の前で記念撮影を行いました。

最後に今回の最大のテーマである「商店街創り」をするため、29店舗の作品を通路に見立てたシートに左右に並べて、ミニ商店街を創りました。子供達のみならず、保護者の方、講師陣もみなが驚嘆し、しばらくカメラを手に取り様々な角度から撮影しておりました。

イベントを通じて感じたことは、商店街を創ることで、親子だけでなく様々な人々とのコミュニケーションが生まれ、参加者皆が笑顔になったことがとても印象的でした。



<住い情報センター主催> **DIY ワークショップ フェス**

関西支部 支部長 中村 裕輔

日時: 2018年10月28日(日) 11:00 ~ 16:00  
会場: 大阪市立住まい情報センター 3階ホール  
参加者数: JCDブース 34名  
JCDスタッフ: 中村裕輔・東潤一郎・斎藤俊二・高橋健太・中山拓・西田豊彦・福本俊和・村田みどり

数年来「こどもたちと創る空間」のタイアップ事業をおこなった住まい情報センター様からお誘いを受けて「DIY ワークショップ フェス」に参加しました。

この会は住まい情報センター様と関係のあるインテリアコーディネーター協会などの6団体がそれぞれのブースを作りワークショップを開催するというもの。初参加のJCDは他の団体の企画を参考にしながらテーブルライトのDIYショップを開催しました。



まずは委員会での集まりの後の試作会を開催。コイズミ照明さんで社内イベントを行っている西田さんや日頃から興味を持っておられる村田さんのアイデアを中心に何点かの種類を用意しました。一番人気は風船に紐を巻き付け、ボンンドで固めた後の風船を割って紐

の球体のセードを作る方法で、材料の紐がなくなり急遽買い付けに走るという状況でした。

又、既製品のLEDプチキャンドルを光源にしたのですが、明るい会場では光が弱くスチレンボードで作った箱の中に展示という細かい工夫も功を奏して、たくさんの方の目を引き多数参加して頂きました。

従来行っている「こどもたちと創る空間」タイアップ事業よりもより近い形で参加者と接することが出来、又喜んでいただいている様子も身近に感じとられ充実したイベント開催でした。ただ反省点も多々あり次回の課題にしたいと考えています。

<JCD/JIDA/JID/KIPA 4団体共催> **関西デザイン学生シンポジウム2018&作品展**

関西支部 理事 東 潤一郎

日時: 関西デザイン学生シンポジウム  
2018年10月13日(土) 15:00 ~ 17:15  
デザイン学生作品展  
10月10日(水) ~ 13日(土) 11:00 ~ 18:00  
会場: ATC ITM棟 10階ODP多目的ルーム  
コメンテーター: 東潤一郎(JCD) 深谷友貴(JIDA)  
井ノ阪智恵(JID) 小椋吉隆(KIPA)  
参加者数: 79名(内、プレゼンテーション学生37名)

2018年10月13日(土)、毎年恒例となっております「関西デザイン学生シンポジウム2018」が、大阪南港のATC ITM棟10階大阪デザイン振興プラザ内の多目的ルームにて開催されました。プレゼンテーション参加学生が37名、来場者数79名と年々活況を呈しています。

今年のテーマは、「#CO 共有・共生のデザイン」。(ハッシュタグ)が示している様に、お互いの価値観を、認め合う・利用しあう・理解を深めて協調していくという私たちを取り巻く新しいテクノロジーから生まれた新しい価値観の在り方を、クリエイティブな側面から参加された学生の皆さんに提案を頂きました。また、シンポジウム会場では、デザイン学生作品展「暮らしを考えるExhibitionデザインリフレクション」も同時開催されました。

今回の発表は、4チーム7校で行われました。「Team JCD」のメンバーは、大阪モード学園インテリア学科の7名、「KIPA」

からの推薦は、神戸女子大学家政学科の9名と国士館大学理工学部建築学科系の4名、「JIDA Team」は、京都造形芸術大学プロダクトデザイン学科の5名と大阪芸術大学プロダクトデザイン学科の4名、「JIDA ACT」からは、摂南大学理工学部住環境デザイン学科チームの5名というプレゼンテーションのメンバーでした。また、特別参加として、大阪大学のグループから、海外学生の国内企業へのインターン支援の活動報告も行われました。

今年から新たに、秀逸なプレゼンテーションに対しまして賞を贈呈することになり、最優秀作品発表賞: 京都造形芸術大学、優秀作品発表賞: 摂南大学、特別賞: 神戸女子大学、作品賞: 大阪モード学園がそれぞれ受賞されました。

私はコメンテーターとして参加させて頂いておりますが、今年の内容は、発想の質とプレゼンテーションのクオリティーのバランスが大変良かったのではないかと思います。デバイスの進化によりプレゼンテーションの質の向上は容易になり、それらを使いこなす学生の皆さんには驚くばかりです。今回は見栄えの巧さだけでなく、発想の質の向上が感じられました。新しいテクノロジーが若い感性を解き放つことを期待しています。また、JCDがその一助になればと思いました。



同時開催のデザイン学生作品展「暮らしを考える Exhibition デザインリフレクション」



## JCD関西支部 - Autumn Meat Party-2018

交流委員会 副委員長 栄 隆志

昨年は地震、大雨、台風といった災害の多い年でした。毎年6月に行われる支部集会在地震の影響で延期され、その影響もあり8月に行われる予定のビヤパーティーが出来ませんでした。なんとか関西を盛り上げようと10月3日-Autumn Meat Party-と銘打ってJCD関西主催のパーティーを開催することが出来ました。場所は大阪の新たな観光スポットとして期待される大阪城公園内のJo-Terrace Osaka、その中でもひととき目立つお洒落な空間good spoonにて開催されました。

パーティーに先立ち、その店舗をデザイン・運営されている株式会社カームデザイン代表取締役 金澤拓也氏にレクチャーをして頂きました。講演内容は「Progressive Calm Design-繁盛店に必要とされるデザインとは-」としてスクリーンに映像を映しながら、金澤氏の仕事を始めたころから現在に至る事業の成長過程をお話頂きました。次々に新たな店舗をデザ

日時：2018年10月3日(土) 18:30 ~ 21:00  
会場：good spoon (Jo-Terrace Osaka内)  
参加者数：58名(正会員11名、一般47名、賛助会員15社)

インし、また自ら運営していくアグレッシブな生き方に刺激を受けた方は多いのではないのでしょうか。

また、今回のパーティーには学生さんの参加者はいませんでした。58名の正会員、賛助会員の方が集まり、夜遅くまで交流を深めることが出来ました。



## JCD関西支部 クリスマスイベント「星に願いを~夢は叶う~」

NEXT委員会 委員長 高橋 健太

日時：2018年12月6日(火)  
第一部「空間×照明」 18:40 ~  
第二部「ワーキング×ライフスタイル」 19:25 ~  
賛助会員商品PR会20:05 ~  
クリスマスライブ20:30 ~  
場所：遠藤照明 大阪ショールーム  
参加者数：96名(正会員13名、一般83名、賛助会員21社)

2018年12月6日、遠藤照明様ショールームをお借りしてクリスマスイベントを開催しました。今回のメインイベントは女子力をテーマに、第一線で活躍している女性空間デザイナーと女性照明プランナーによるトークセッション「Womens Meeting 2018」です。モデレーターをJCD関西 中村支部長、遠藤照明 仲様、NEXT委員会 猪木副委員長にして頂き、楽しいトークセッションが繰り広げられました。

第一部「空間×照明」では、自身がデザインした作品をプロジェクターで映し出し、嬉しかったことや苦労したこと等を各々発表して頂きました。作品の振り返りは思い出が詰まっているからでしょうか、皆豊かな表情で、声が大きく張りがあるように感じました。

フードコート環境デザインだけでなく、ネーミングやロゴ作成まで幅広くデザインされた話や、商業施設の環境やトイレのデザインをするときに、ママの視点を取り入れたという話がとても印象的でした。また、ママデザイナーは時短勤務の為、タイムマネジメントが重要だという話も感慨深かったです。

第二部「ワーキング×ライフスタイル」の女性照明プランナーによるトークでは「空間デザイナーが計画した空間を照明により最大限演出するためにはどのようにプランすべきか」という問いに「それは空間デザイナーの想いをどれだけ汲み取れるかであり、その為にはコミュニケーションや協議を重ねることが要諦である」と答えられていま

た。また、自宅の照明をその時その時の気分で演出して楽しんでいるという照明プランナーの話もありました。本当に好きなことだからライセンスプランが生まれてくることは言うまでもありません。

トークセッションが活況続く中、また機会があれば第二弾も...と余韻を残し幕を降ろしました。

トークセッションの後、JCDバンドによるロックライブが行われ、会場は最高潮に達しました。

今回のクリスマスイベントにはデザイナー、メーカー、学生等デザインに関わる多数の方々にご賛同頂きました。普段聞けないような話を耳にし、交流することがほとんど無い人との出会いは、相応のバリューがあったのではないかと拝察します。

トークセッションに参加して頂いた皆様の益々の進展と、これから活躍する女性空間デザイナーや照明プランナーの台頭にも期待したいと思います。そして空間デザインの領域が益々活気に満ちたものとなり、関係各者が皆豊かになることを期したいと思います。



第一部:太田裕美子(乃村工芸社)、  
松永沙織(遠藤照明)、大野美幸(スペース)、  
大塚恵理子(大光電機)、高橋綾子(船場)  
第二部:コイズミ照明、田島ルーフィング、スペース、  
遠藤照明、大塚家具、乃村工芸社、東リ、船場  
モデレーター:仲達則・中村裕輔





## 2018年度 NEXT委員会 活動報告 『親子de体験セミナー こどもたちと創る商店街を通じて』

今年度より“研究委員会”から「次世代に繋ぐ活動をしていく」ことを目標と掲げ、“NEXT委員会”と名前を新たに1年間の活動をして参りました。

次世代を担う子供たちに店舗創りの楽しさを知ってほしいと、毎年恒例となりました住まい情報センターとのタイアップ事業であります、商店街の模型創りのワークショップを8月25日土曜日に開催いたしました。

本物のマテリアルを使用してよりリアルな店舗造りを体験してもらおうと、毎年協賛企業様からマテリアルのご提供を頂いておりますが、今年は委員会の名前と共にマテリアルも新しく揃える年となり、各企業様に御声掛けさせて頂きました。その結果、大変多くのマテリアルを御提供頂くことができ、魅力的なマテリアルを前に子供たちも「どれを使おうか」と目を輝かせて手に取っていました。御協力頂きました企業様に、改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。

子供たちには夢中になって模型を創った楽しい時間、完成した作品を見て思わず笑顔になった瞬間。この体験は夏の忘れられない思い出に思ってもらえたことと思います。発表が近づくにつれ「まだまだ創っていたい」という

NEXT委員会 副委員長 猪木 陽子



声が聞こえてきましたので、きっと「お家でも創ってみよう」と、お店創りの楽しさに気づいてもらえた子供さんも多くいたのではないのでしょうか？そして、その中の何人かは未来のデザイナーになりたいという夢を持ってもらえれば…と願っています。次年度もこのような活動を続けてまいります。今後も皆様の御協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

## 2018年度 広報委員会 活動報告

広報委員会 委員長 中山 拓

日頃、当委員会の活動にご理解・ご協力を頂きまして誠にありがとうございます。本年度の広報委員会ではホームページの更新、facebookにてイベント情報の掲載やレポートの配信、また毎年皆様のお手元に届きます会報誌の『JCD Kansai』の発刊に向け、各イベントへの参加・取材を中心に行ってまいりました。

ホームページでは会員情報の更新、また会員名から会員詳細情報へのリンクなどマイナーチェンジを図る取組を行っておりましたが、私共のアナウンス不足もあり、未だ道半ばという状況です。ご協力頂いております会員様におかれましては大変申し訳ございません。

次年度も引き続きJCD関西の魅力発信を強化するべく、他委員会と連携を強めながら活動を行ってまいります。



<http://www.jcd-kansai.jp/>



合同委員会定例会風景(2019年3月4日開催)

最新情報はFacebookで！ぜひご登録をお願いします

JCD関西支部  
ホームページ  
2019年  
3月15日現在

## 新入会員紹介

猪木 陽子 Inoki Yoko

株式会社大塚家具



納品実績  
床ゼロ・コーポレーション モデルハウス等 多数  
サンフォーリータウン桜ノ宮 共用部等 多数  
ゲストハウス 鈴シリーズ(建仁寺・祇園細手・  
五条大宮・石泉院・学林町・上夷 他)  
個人邸・宿泊施設 多数  
インテリアオブジェ JOUERA JOUR



個人掲載 URL <https://www.idc-otsuka.jp/staff/07-inoki.html>

株式会社大塚家具 法人コントラクト営業部  
〒541-0045 大阪府大阪市中央区道修町 3-6-1  
TEL 06-6616-7680 FAX 06-6616-7681  
MAIL 2874inoki@idc-otsuka.co.jp

太田 裕美子 Ohta Yumiko

株式会社乃村工藝社

商業施設の環境設計や店舗のインテリア、ディスプレイまでさまざまなプロジェクトを推進しています。JCDの入会を機に多くの方と交流を図りたいと思っています。よろしくお祈りします。



株式会社乃村工藝社 〒556-0011  
大阪市浪速区難波中2丁目10番70号  
パークタワー20階 080-2272-5058

柴田 雅幸 Shibata Masayuki

スーパーチンパンジーデザインCO.

高校時代の友人と  
髭と禿がトレードマークの  
デザインユニットとして、  
「LOVE AND PEACE」  
「WAR IS OVER」を旗頭に  
1999年より活動開始。  
変な社名を売ってかっこ良く  
しようと思つても、  
中途半端にしか売れず後悔。  
近年は各個人にて  
それぞれソロ活動をスタート。  
ショップデザインをメインとし、  
業種や分野を問わず  
様々なデザインに手を出し、  
首を突っ込む無節操な  
スタイルのデザイン事務所。



Super Chimpanzee DESIGN CO.  
(スーパーチンパンジーデザインカンパニー)  
〒542-0081 大阪市中央区南船場 4-10-25  
第三飯沼ビル 4F ケンデザイン内  
s-cpz@co.email.ne.jp / 090-3464-3034

## 新入賛助会員紹介

株式会社大塚家具

良いものをお届けすることにこだわり続けて50年。  
豊かな暮らしのために、お客様のために、大塚家具はこれからも歩み続けて参ります。

納品実績 ザ・プリンスパークタワー東京  
ホテル椿山荘東京 レストランひらまつ高台寺  
品川プリンスホテル ANAクラウンプラザホテル稚内  
鴨川リゾートホテル 他多数



株式会社大塚家具 法人コントラクト営業部 大阪事務所  
〒541-0045 大阪府大阪市中央区道修町 3-6-1 TEL 06-6616-7680 FAX 06-6616-7681  
URL <https://www.idc-otsuka.jp/> コントラクト事業部 URL <https://www.idc-otsuka.jp/business/>





MAXRAY  
A Harmony of Light and Space

USHIO

CHRISTIE



「光 × 映像 × 音」ユニークな発想と確かな技術で、ワクワクとドキドキを。

ウシオエンターテインメントホールディングス株式会社 [www.ushio-entertainment.com](http://www.ushio-entertainment.com)  
〒104-0032 東京都中央区八丁堀2-9-1 RBM東八重洲ビル Tel:03-6365-4938(代)

KOIZUMI

— 違う発想がある

## UNIVERSAL DOWN LIGHT

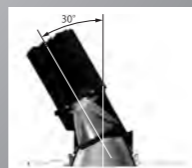
小口径、高出力、高効率の3つのキーワードにより  
設計デザインした新構造



深型コーンによるまぶしさの軽減と  
浅型ユニバーサルに引けを取らない  
高効率との両立を実現。



深型コーンと光源  
ユニットの吻合位  
置の設計を追求し、  
グレアカットと高  
効率の両立を実現。



首振り角度は30  
度、グレアカット  
角は33度(直立  
時)とし、深型コー  
ンによりまぶしさ  
の軽減を実現。

コイズミ照明株式会社

本社 〒541-0051 大阪市中央区備後町3丁目3-7  
近畿店舗営業部 〒812-0011 大阪市東成区東中本2丁目3-5 TEL.06-6975-7124 FAX.06-6975-7127

“人をしあわせにする光”を追い求め、  
そして生み出すために、  
私たちはこれからもチャレンジを続けてまいります。

ENDO  
LIGHTING CORP.



LIGHTING  
WORKS

tonarie 大和高田

施主  
株式会社日本エスコ  
基本計画・基本設計実施設計監修  
有限会社永山裕子建築設計  
基本設計  
株式会社スペース  
実施設計  
村本建設株式会社  
電気工事  
株式会社九電工



写真:Nobutada Omote

株式会社 遠藤照明  
SHOWROOM

<https://www.endo-lighting.co.jp/>



# Panasonic



スポットライト型プロジェクター  
**Space Player**  
スペースプレーヤー

## 配線ダクトに 取り付けられる、 パナソニックのプロジェクター。

設置しやすい手軽な映像演出で、店舗リフレッシュやレイアウト変更に柔軟に対応できます。



店舗空間を映像で演出し、  
お客様に新しい体験を提供。



配線ダクトに  
取り付けOK!



首振り可能で  
調整が自在。

スペースプレーヤーを自在に  
扱えば、空間はより楽しくなる。  
ぜひ、事例でご確認ください。



スペースプレーヤー

検索

※画像はイメージです。